

甲状腺検査対象者及び関係者への聞き取りの結果について

令和3年5月17日
福島県県民健康調査課

1 目的

甲状腺検査のあり方を検討していく上で、甲状腺検査の対象者及び関係者から甲状腺検査に対する意見、考え方等を直接聞き取りし、今後の検討委員会における議論の参考とするため。

2 実施概要

(1) 実施日

令和3年3月中に5日間で実施

(2) 実施方法

進行役と対象者（1人）によるインタビュー形式により、1時間程度聞き取りを実施

※県事務局が2名程度同席

当日資料として「甲状腺検査のお知らせ」等を対象者へ提示した（参考資料4）。

(3) 進行役

医療法人コメディカル江口病院 副理事長 江口 有一郎 氏（医師）

※ 次の条件を満たし、かつ聞き取り調査等の経験を有する方を依頼した。

ア 県民健康調査甲状腺検査と直接関わっていない方

イ 医学的知識を有する方

(4) 聞き取り対象者

それぞれ関係団体から推薦いただいた。

なお、今回の聞き取り対象者は地域や学校、団体、検査対象者本人、保護者等の代表者として発言したものではない。

ア 検査対象者本人（計3名）

県内高校生（中通り、会津、浜通りから各1名）

イ 保護者（計6名）

中学生の保護者（中通り、会津、浜通りから各1名）

高校生の保護者（中通り、会津、浜通りから各1名）

3 聞き取り結果の概要（聞き取り結果は参考資料5及び6のとおり）

(1) 検査は不安や心配があって受けているのか

ア 検査対象者本人

- ・ 不安はない。多分大丈夫だろうという意識。
- ・ 小学校からやっているから自然な流れで。

イ 保護者

- ・ 最初は不安だから検査は積極的に受けさせたいと思った。
 - ・ 時間が経って心配が減っているので話題が薄れている。不安だね、などの会話はな
- い。

(2) 検査を受けることが当たり前、習慣等と思って受けているか。

ア 検査対象者本人

- ・ (学校で行う) 内科検診と一緒に。

イ 保護者

- ・ 検査の通知が来たらみんなが普通だと思って受けている。習慣化しているわけではない。受けているから受け続けなくてはという感じ。こういう時代に生まれて怖いから受けるというのがベースなのではないか。
- ・ そう思っている。満期になるまで (検査が終わるまで) 受けたい。

(3) 検査を受けて (受けさせて) 良かったことは何か

ア 検査対象者本人

- ・ 安心。
- ・ 最初から受けるものだと思っているので、良かったとは (特に思わない)。

イ 保護者

- ・ 安心材料。

(4) 検査を受けて (受けさせて) 嫌だと思うこと、心配に思うことはあるか

ア 検査対象者本人

- ・ とくにはない。

イ 保護者

- ・ なかった。
- ・ 一回引っかかったとき (二次検査になったとき) は心配しました。その後、また引っかかるかと思っただけ、何もなくて安心した。

(5) 学校で検査を授業中に行っていることで、検査を受けなくてはならないもの (強制のもの、義務的なもの) と思ってしまうか。

ア 検査対象者本人

- ・ させられているというよりは内科検診と同じ感じ。便利。
- ・ 受けること自体に損がないと自分は思っているので、大丈夫だと思う。
- ・ 時間をとってやるというのはあるので、受けないのが変かなと思う。

イ 保護者

- ・ 半強制みたいな感じだが、親としては学校に行っているうちにできるのはありがたい。
- ・ (学校の) 健康診断と一緒にです。そこまでの圧力は感じない。

(6) 検査が学校以外で実施されていた場合、検査を受診しているか。

ア 検査対象者本人

- ・ 病院で自主的にというと、親だったら勧めると思うが、自分の意思なら行かない。

イ 保護者

- ・ 毎回はいけないかもしれない。今の方が受けやすい。どんなお母さんにとってもそう。

- ・ 受けさせていたと思う。あくまでも自分たちの安心のために連れては行っていた。県も親も子どもも安心だというためにやるものだと思う。
- ・ 行かないと思う。知識的に「いや」という考え。

(7) 高校を卒業して自分で受けに行くとなった場合、検査を受診するか（子どもに受診してほしいと思うか）

ア 検査対象者本人

- ・ 大学に行って、県内なら受けると思うが、県外なら受けないと思う。受けられる環境であれば。
- ・ 受けない。4、5回受けてきたが、正常だったので大丈夫かなと過信している。

イ 保護者

- ・ 受診して欲しいと思う。一方、日々の生活が忙しくなれば、受けたい気も薄れていくと思う。

(8) 高校卒業後に受けない場合、どういったサポートがあったら受けることを考えるか。

イ 保護者

- ・ まず行くのが面倒くさいので自分の近いところで受けられるように、地方に行ってもできるように。
- ・ 帰ってきたときにいつでもできるようにするのがいいのでは。

(9) 検査にデメリットがあることは知っているか。

ア 検査対象者本人

- ・ デメリットはあまりないと思う。

イ 保護者

- ・ デメリットはないと思う。
- ・ デメリットは、前はなかったのう胞が見つかったなど心配事が増えること。

(10) 検査をしなければ一生見つからない甲状腺がんもあると言われており、検査で見つかることにより、手術やその後の薬の服用を続けなくてはならない場合も起こりうるがそのことをどう思うか。

ア 検査対象者本人

- ・ （がんがあることを）知らないことの方が不安ではあります。
- ・ （がんがあるとわかったら）放っておけない。

イ 保護者

- ・ 検査について情報は圧倒的に少ない。メリット・デメリットの説明会をもっときめ細やかにやるべき。
- ・ 見つからないで手遅れになるよりは見つかった方が良い。
- ・ 当時の福島は、新型コロナウイルス以上の心配があった。今まではその流れで安心・安全をとってきた（検査を受けた）。（がんが）見つかったからどうするかは自分で選択すればいい。